

記入見本：配偶者が氏を持たない場合

婚姻届

令和 7 年 6 月 20 日 届出

在シンガポール日本国 大使 殿
総領事

フリガナはカタカナで記入

項目名の「氏」と、「名」の欄との境界線を二重線で抹消してください(妻となる方が氏を持たない場合も同様)。また、この欄に記入した外国籍配偶者の氏名(原則カタカナ)が、戸籍に記載されますので、小書き文字(例:ッ)を使用する場合は、文字サイズを明確に小さく記入してください。

【夫の欄】 国籍を記入してください。

【妻の欄】 戸籍に記載の通り、ハイフン等を使用せず、都道府県名から地番まで正確に記入してください。

	夫 になる 人	妻 になる 人
(フリガナ)	サンプル ネーム	ホシ ナツコ
氏 名	氏 名	氏 名
生 年 月 日	西暦 1990 年 5 月 7 日	平成 2 年 2 月 20 日
住 所	シンガポール共和国 ナッスムロード16 03-10号	シンガポール共和国 左に同じ
本 籍	シンガポール共和国	大阪府大阪市旭区 大宮一丁目1
父母及び 養父母の氏名 父母との続き柄 (右記の養父母以外にも 養父母がいる場合には その他の欄に書いてください)	父 サンプル ファーザー 母 サンプル マザー 養父 養母	父 星 二郎 母 冬美 続き柄 二 女 続き柄 養 女
婚姻後の夫婦の 氏・新しい本籍	□夫の氏 新本籍(左の欄の氏の方がすでに戸籍の筆頭者となっているときは書かなくてください) □妻の氏 大阪府大阪市旭区大宮一丁目1	
同居を始めたとき	平成・令和 5 年 12 月	
初婚・再婚の別	□初婚 再婚(□死別 □離別 西暦2020 年 3 月 1 日)	□初婚 再婚(□死別 □離別 年 月 日)
同居を始める 前の夫婦のそれ ぞれの世帯の おもな仕事と	夫 妻 夫 妻 夫 妻 夫 妻 夫 妻	
夫 婦 の 職 業	(国勢調査の年... 年...の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください) 夫の職業 01	妻の職業 00

外国籍父母の氏名は
日本文字で記入

住所は日本文字で記入(コンド名は不要)

☑は不要

死別又は離別がある場合、該当区分に☑を入れ、日本国籍の方は和暦で、外国籍の方は西暦で、その年月日を記入。

婚姻後の新本籍を、ハイフン等を使用せず、都道府県名から地番まで正確に記入してください。

【新しい本籍を、婚姻前(現在)の本籍とは異なる場所に設定する方へ】
当館での婚姻届の手続きに先立ち、「新しい本籍の場所が、本籍地として設定できるか」に関して、管轄する市区町村役場にあらかじめ確認してください。

夫は慣習により氏を持たない者であり、
名は サンプル ネーム である。
「配偶者が氏を持たないこと」及び「配偶者の名」を
記入(説明)してください。妻になる方が氏を持たない
場合は、「妻は慣習により…」と記入してください。

【既に同居している方】本欄に同居開始又は結婚式(挙行
済みの場合)の年月のうち、早い方を記入。
【既に結婚式は行ったが、まだ同居していない方】本欄に
結婚式の年月を記入し、その他の欄に「まだ同居してい
ない。」と記入。
【同居及び結婚式が共に未了の方】本欄には記入せず、
その他の欄に「まだ結婚式も同居もしていない。」と記入。

署名欄・押印欄共に、ブランクのままで当館に持参願います。届出人と
なる日本国籍の方に、当館窓口にて署名いただきます。(押印は任意)

届 出 人 署 名 (※押印は任意)	夫	妻
	印	印

職業例示表(「婚姻届に係る記入上の注意点(共通)」
の項に掲載)を参照し、「最も近い職業分類の番号」又
は「具体的な職業名」のいずれかを記入してください。

電話番号は、日中に連絡可能なものを記入
し、メールアドレスは誤送信防止のため、読
み方を補足の上、丁寧に記入してください。

Mobile: +65-XXXX-XXXX

E-mail: g2134q5s8_sample@ne6r7o90

ジーイチキュー アンダー エムエル エヌ アールオーゼロ
パー